

## 2 評価結果

No.	評価項目	評価内容
1	相談受付 (インテーク)	<p><b>【総評】</b> 聞き取り表の使用等によって、各事業者とも概ね聞き取り内容が明確に定められており、内容も客観的に記録することができていた。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 支援対象者が複数名であったが、丁寧な聞き取りが行われ、この段階でそれぞれに必要な支援方針が具体化できている。</p> <p>(2) 聞き取り内容が様式によって網羅されており、本人の希望や現状の課題が記録できている。</p> <p>(3) 聞き取り内容は客観的に記録できているが、具体的な記述が少なく、第三者には詳細が把握しにくい。</p> <p>(4) 様式は整備されているものの、十分に活用できていない。</p>
2	主訴（意思） ・課題の明確化	<p><b>【総評】</b> 本人の状態や障害特性に応じた工夫により、本人や家族の主訴把握が明確に行われている事例が多く見られたが、自己評価に比べ、課題が十分に整理されていない事例や、本人の隠された問題を探し出せていない事例も複数見られた。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 多問題家族が抱える複数の問題が、継続的な訪問の中で掘り起こされ課題が明確化できている。</p> <p>(2) 本人の状態や障害特性に応じた工夫が見られており、家族と本人の意思とがしっかりと分けて把握されている。</p> <p>(3) 本人の抱える問題がニーズ整理表によくまとめられている。</p> <p>(4) 関係機関の主導による印象が強く、本人や家族の意向把握が丁寧に行われていない。</p> <p>(5) 課題の整理や簡潔化が不十分であり、隠れている問題まで把握されていない。</p>

No.	評価項目	評価内容
3	課題分析 (アセスメント)	<p><b>【総評】</b> アセスメントシート等を利用することにより、本人の主訴を踏まえた課題の分析ができていたが、自己評価に比べ、相談者に対して、アセスメント結果から複数の選択肢を提示できていない事例が多く見られた。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 支援方法整理表を用いて、本人の希望に対する現状の問題点や、その差を埋めるための手法が具体的に提示されている。</p> <p>(2) アセスメントシートやニーズ整理表が上手に活用されており、課題の分析やニーズの整理が行われている。</p> <p>(3) アセスメントシートが作成されておらず、支援方法についても複数の選択肢が提示されていない。</p>
4	個別支援会議	<p><b>【総評】</b> 必要な機関を集めた個別支援会議を適宜開催することができていた。</p> <p>しかし、少数ではあったが、適当な時期に個別支援会議が開催されていない事例や、会議終了時に適当な役割分担が行われていない事例も見られている。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 退院後の在宅生活に向け、個別支援会議が複数回開催されており、適切な対応が行われている。</p> <p>(2) 必要が生じた際には速やかに個別支援会議が開催されており、会議後の対応や役割分担が、分かりやすく記録されている。</p> <p>(3) 本人の環境が変化した際に個別支援会議が開催されておらず、関係機関を集めた会議を開催するべき。</p> <p>(4) 個別支援会議は開催されているが、会議にて課題の整理や役割分担が十分に行われていない。</p>

No.	評価項目	評価内容
5	支援計画	<p><b>【総評】</b>            支援計画は、本人及び家族等との十分な話し合いの上で、作成することができていた。            ただし、作成した支援計画への第三者による検証は、行われている事例が少なく、自己評価、評価者評価ともに達成状況は低かった。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b>            (1) 本人・家族を交えての会議を開き、丁寧な計画が作成されている。            (2) 個別支援計画とサービス利用計画とが合わせて作成されており、具体的なサービス利用方法等が把握しやすい。            (3) 支援計画に対し、第三者による検証が行われていることは確認できない。</p>
6	支援の進行管理 (モニタリング)	<p><b>【総評】</b>            モニタリングシートなどを用いながら支援の進行管理が行われており、状況の変化を支援計画に反映させることができていた。            しかし、支援計画と同様に、支援結果を第三者が評価する仕組みは、ほぼ行われていない。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b>            (1) モニタリングシートを利用し、保護者や本人の状況や関係機関との協議状況などが詳しく記録されている。            (2) モニタリングシートに支援経過が詳細に記録されており、複数回の支援計画見直しを行うなど、支援の進行管理ができている。            (3) 支援結果に対し、第三者による評価が行われていることは確認できない。</p>

No.	評価項目	評価内容
7	作成資料	<p><b>【総評】</b> 作成資料は概ね適切に作成されていたが、自己評価に比べ、資料の分かりやすさ、客観的事実と希望・考えの別などが不十分な事例が複数見られた。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 資料が非常に分かりやすく整理されており、第三者から見ても支援経過や対応内容が把握しやすい。</p> <p>(2) 報告様式に未記入箇所など不十分な点が見られる。文章も分かりにくい。</p> <p>(3) 記載内容について、事実と憶測、意見、提案などが散見されている。</p> <p>(4) 問題が多い家族のジェノグラムには、緊張関係など補足的な表示が必要。</p>
8	その他	<p><b>【総評】</b> 法人や併設施設の特徴を生かした支援ができていない事例が見られる一方、事業所としての対応の統一化や、事業所内での議論を十分に行うことができていない事例も多く見られた。</p> <p><b>【主な個別評価内容】</b></p> <p>(1) 事業所として、相談支援内容を記録する様式が整理されている。</p> <p>(2) 併設施設による支援の総合力を活用しながら、支援することができている。</p> <p>(3) 相談員だけで抱え込むのではなく、法人全体の機能を活用して支援方針等を決定していくことも必要。</p>